

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	【サブドレン浄化設備A系供給ポンプ(A)出口弁のシート漏えいについて】 当直員が、サブドレン浄化設備供給タンク(A)の作業のため供給タンク(A)から供給タンク(B)へ移送を行ったが、移送後安全処置を実施したところ、サブドレン浄化設備供給タンク(B)の水位が低下していることを確認。 調査の結果、供給ポンプ(A)入口弁を全閉にしたところ、水位低下が停止したことにより、供給ポンプ(A)出口弁のシート漏えいと判明。 今後、点検修理予定。 B系が使用可能なため、運転には支障がない。	GⅢ	2月13日	2021.3.3訂正 正:サブドレン浄化設備供給タンク(B) 誤:サブドレン浄化設備供給ポンプ(B)
2	【6号機残留熱除去海水系(B)熱交換器海水入ロラインドレン弁のシート漏えいについて】 当直員が、6号機残留熱除去海水系(B)の点検後の水張において、熱交換器海水入ロラインドレン弁のシート漏えいを確認。 当該弁の下流のフランジに閉止板を設置予定。 今後、点検修理予定。	GⅢ	2月16日	
3	【5・6号機PPゲート近傍における車両同士の接触事故について】 協力企業作業員が、物揚場に移動する際、5・6号南側道路のPPゲート通過待ち車両が十数台並んでおり、当該車列を回避し対向車線から物揚場に向かうところ、車両前方から対向車がきたので、道路南側の倉庫入口スペースにて通過車両を回避した。 その後、対向車両が多かったことから、車列に戻るため車両を後退させたところPPゲート通過待ち車両に接触。 原因は、運転手が現場到着時間に遅れが生じると思いあわてていたことから後方確認がおろそかになったことと推定。 車両接触による怪我人はない。 今後、再発防止対策を検討。	GⅢ	2月17日	
4	【陸側遮水壁設備の凍土補給ろ過水ポンプの破損について】 協力企業作業員が、陸側遮水壁設備の凍土補給ろ過水ポンプ点検時にポンプ内の複数個所にひび割れを確認。 陸側遮水壁設備への補給水は、構外浄水場、ろ過水、坂下ダムからの3供給ラインがあるが現在は、構外浄水場からのみ供給しているため、陸側遮水壁設備の運転に影響ない。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。	GⅢ	2月17日	
5	【多核種除去設備処理水貯槽(J4-D3)タンク水位計指示不良について】 当社社員が地震発生後の点検において多核種除去設備処理水貯槽(J4-D3)タンク水位計指示不良を確認。 当該タンクは水の移送を行っておらず、連結弁開による代替監視可能なため系統への影響はない。 水位計は無線式水位計であり、現場水位計表示部は水位を指示するが、他機器との通信ができない状態。 水位計の電源を再投入するも復旧しないため計器内の送受信機能の故障と判断。 今後、計器交換を検討。	GⅢ	2月18日	